

金沢区で初の
巡回展!

第19回カナガワビエンナーレ

国際児童画展

The 19th KANAGAWA BIENNIAL World Children's Art Exhibition

—— 国境を越えたアート Cross-Border Art ——



入場
無料

大賞 (ネコの家族) アシュラル・アラム (バングラディッシュ 9歳 男) ©神奈川県

2017年11月24日 **金** ~ 11月30日 **木**

9:00 ~ 17:00 金沢公会堂多目的室 (金沢区役所2階)

金沢区泥亀2-9-1

主催: 金沢区役所、神奈川県、神奈川県立地球市民かながわプラザ (指定管理者: 公益社団法人青年海外協力協会)

後援: 独立行政法人国際交流基金、独立行政法人国際協力機構、公益財団法人日本国際連合協会、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、公益財団法人日本YMCA同盟、公益財団法人日本ユニセフ協会、神奈川県日本中国友好協会、神奈川県内市町村、神奈川県教育委員会、神奈川県内市町村教育委員会

金沢区巡回展協力: 金沢国際交流ラウンジ

問合せ: 金沢区地域振興課 区民活動支援担当 ☎788-7804 FAX 788-1937

カナガワビエンナーレ国際児童画展とは

「児童の権利に関する宣言」が国連総会で採択されてから 20 年目にあたる 1979 年を国際児童年とする決議が 1976 年の国連総会で採択されました。この国際児童年を契機に、神奈川県が唱えた「国際外交」事業のひとつとして「カナガワビエンナーレ国際児童画展」第 1 回展を 1981 年に開催しました。絵画を通じて明日の世界を担う児童の夢と創造力を育み、お互いの生活や多様な文化を理解するため、海外及び神奈川県内から児童画を公募し展示する国際児童画展です。

*ビエンナーレはイタリア語で 2 年に一度開催される美術展のことです。



大賞（ボクシング）柳井大樹（横浜市 7歳 男）©神奈川県

第 19 回カナガワビエンナーレ国際児童画展へは、言葉の壁や文化の壁を乗り越え、海外 87 か国 1 地域より 21,411 点、神奈川県内から 3,161 点、合計 24,572 点の応募がありました。本展覧会で審査を通過した入選作品 519 点（海外作品 389 点、県内作品 130 点）のうち、金沢区巡回展では、大賞作品を含む約 80 点を紹介します。

参加した児童・生徒（4 歳～15 歳）たちは、目に映ったもの、目の前で起きていること、想像したことを、画用紙におもいっきり描いています。

えんぴつ 1 本と紙 1 枚さえあれば、絵は描くことができます。国境を越えて届いた絵から伝わるさまざまな思いがあると思います。子どもたちの絵を通じて、世界とつながっていることを感じてみてください。

金沢公会堂へのアクセス

